

松峯 茂議員が 第38代 議長に就任!

令和5年5月開催の臨時議会で正・副議長選挙が行われ、うじ未来会派から松峯茂議員が第38代宇治市議会議長に就任されました。



松峯 茂
まのみねしげる

- ・うじ未来 団長
- ・産業・人権環境常任委員会委員
- ・城南衛生管理組合議会議員

真田 敦史
さなだあつし

- ・議会運営委員会委員
- ・文教・福祉常任委員会委員

服部 正
はっとりたかし

- ・建設・水道常任委員会副委員長

新たな所属委員会が決定!

うじ未来

今川 美也
いまがわみや

- ・うじ未来 幹事
- ・文教・福祉常任委員会副委員長
- ・京都地方税機構議会議員

岡本 里美
おかもとさとみ

- ・総務常任委員会委員長
- ・城南衛生管理組合議会議員

西川 友康
にしかわともやす

- ・総務常任委員会委員
- ・広報委員会委員

角谷 陽平
かどやようへい

- ・議会運営委員会委員
- ・産業・人権環境常任委員会副委員長
- ・広報委員会委員
- ・城南衛生管理組合議会議員

令和5年度 宇治市6月補正予算

物価高騰対策給付金事業費

7億9,500万円

1世帯につき3万円

- 対象
- ①世帯全員の住民税均等割が非課税で
令和5年7月1日時点で市内在住 または その他市内在住の世帯(転入等)
 - ②家計が急変するなど、①と同様の事情にあると認められる世帯

うじの生活おうえん デジタルクーポン事業費

3億円

1人各1セットまで購入可能

事業対象者	市内に店舗を有している事業者	市内に店舗を有している事業者 (大型商業施設、スーパー、コンビニなど除く)
プレミアム率	30%(補助額1,500円)	40%(補助額2,000円)
デジタルクーポン 販売セット数	6,500円(販売額5,000円) 70,000セット	7,000円(販売額5,000円) 50,000セット

商店街等販売支援事業費

1,000万円

補助率3/4(上限200万円)

- 対象
- 消費喚起となる販促品や商品券発行等

生活者支援に要する経費



6月定例会 一般質問

「災害廃棄物処理計画」 年内の策定を目指す

災害により出た廃棄物の処理には、地域のみなさんの協力が必要不可欠です。環境省の「災害廃棄物処理住民啓発モデル事業」が榎島地区で実施された。実施内容は、地域において災害廃棄物の円滑な処理を行うための住民向けハンドブックの作成、また実際に収集運搬の流れを想定した模擬訓練など。訓練後の意見交換会では、粗大ごみを運び出す人手の課題、集積場所とその周知方法などがあげられた。仮置き場をどこにすればいいのか、どう運ぶのかなど、地域ごとに考えてもらう機会を持つことが大切だと要望した。



岡本 里美 議員

地域共生社会の 実現について

地域共生社会実現のためには市内の地域福祉実践を当局が部局横断的に支援する必要がある。例えば志津川では障害者就労支援施設利用者と地域コミュニティにイベントを通じた地域福祉の関係性が育まれているため、グループホーム建設の要望があるが、一方で市街化調整区域の制約に阻まれている。こうした地域福祉実践を部局横断的にどう支援していくのか、確認した。市は、福祉部局が関係部局とも緊密に連携し、各制度との整合性を図りつつ、市政および地域にとって、より良い形となるよう丁寧に対応していく、と答弁。



角谷 陽平 議員

4 常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防などを担当



岡本 里美

西川 友康

電動キックボード等の 新たな区分の創設

令和5年7月1日より特定小型原動機付自転車に関する新たな交通ルールが施行され、ナンバープレートの交付が開始された。原則として車道を走行するが、時速6キロまでなど条件を満たせば歩道を走行することが可能なため、交通ルールの普及啓発が重要。詳しくは下記のHPをご確認ください。



<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/44/65906.html>



文教・福祉 常任委員会

教育、福祉などを担当

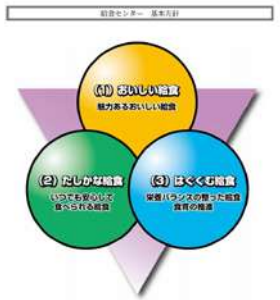


真田 敦史

今川 みや

給食センターの整備について

宇治市学校給食整備事業は、6月30日からデザインビルド方式（DB方式）の事業者募集が開始された（※DB方式とは、設計・施工を一括で行う手法）。事業者が決まった後、運営が始まっていく。子ども達に、安全で安心な給食が提供できるよう、令和8年度、早期の開始に向けて進めている。



産業・人権環境 常任委員会

産業・観光振興、人権、環境、まち美化、農業などを担当



松峯 茂

角谷 陽平

宇治市天ヶ瀬ダム かわまちづくり計画の変更について

宇治橋地区での歴史公園と連携した水上アクティビティ等の新たな賑わい創出事業実施や、宇治橋周辺と天ヶ瀬ダム周辺の回遊性を高めるための新たな移動手段、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用する施策を検討するため、国に変更計画を申請。



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



服部 正

高齢者買物移動支援事業 について

現在宇治市では高齢者などの移動手段の確保として様々な取組が進められており、榎島町紫ヶ丘地域では病院の送迎車両を利用し、利用者が無料で買物などへの移動手段として活用できる事業を検討されている。今後は本年8月の本格運転に向け準備を進められている。

